令和８年度　災害時訓練（フォーム入力）の結果

≪実施日≫

令和８年 10 月 7 日～10 月 20 日（入力の案内は 10 月 13 日～10 月 16 日）

≪入力数≫

67 件

支　　部：兵庫県看護協会の地域区分
ブロック：兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会の地域区分

支部	ブロック	入力数	市区町	入力数
但馬	但馬	7	朝来市	1
			豊岡市	5
			香美町	1
阪神北	丹波	1	丹波篠山市	1
	阪神北	1	伊丹市	1
阪神南	阪神南	39	尼崎市	8
			西宮市	31
神戸東部	神戸	6	神戸市灘区	1
神戸中部			神戸市北区	2
神戸西部			神戸市西区	1
			神戸市長田区	1
不　明			神戸市	1
西播	中播磨	7	姫路市	7
	西播磨	1	上郡町	1
東播	東播磨	1	明石市	1
	淡路	1	あわじ市	1
北播磨	北播磨	1	西脇市	1
不明	不明	2	不明	2

令和７年度と異なる地域の方から入力していただきました。

≪感想・意見≫

入力について

・回答が選択式で入力しやすい。使いやすい。（6 件）
・簡単に情報提供ができるのは、実際の災害時に助かると思う。
・実際の場合は、各事業所のスタッフ一人一人からの報告よりも事業所からまとめて報告した方が分かりやすいのかなと思った。
→ 発災直後は、事業所でまとめることが難しいのではないかと考えています。発災後 1 週間以降は、事業所ごとの入力や別のフォームへの入力をお願いするかもしれません。

項目について

・災害時は簡潔に入力したいと思うので、何を最優先に伝えるか必要事項の絞り込みが必要。
・初期対応としては確認できないことも多い。
→ 確認できたことや、伝えたいことから入力していただけるように、いつでも何度でも利用していただけるようにしています。実際には、数日～1 週間後、またはそれ以降に入力していただけるのではないかと思っています。
・写真が何の写真なのかわからなかった。
→ 道路や河川、建物の状況等を想定しています。
フォームに説明を加えるように検討します。

訓練について

・情報発信の練習になった。
・今回の訓練を通して、災害時には職員の安否確認や事業所の状況を把握し、必要な情報を共有することが大切だと感じた。また、被害状況に応じて必要な支援を考え、速やかに情報発信できるよう、日頃から災害時の対応について確認しておく必要があると思った。
・訓練をして、想像力が不足しているなと感じた。経験の違うスタッフみんなで話し合うことで新たな視点が見えてきたり、今時だが AI を活用すれば、より現実味を帯びたシミュレーションができるのかなと思った。

その他

・どのような支援がしていただけると認識していたらよいか。
・災害発生時、携帯が使えないならば送信も難しいかなと思った。
・人材派遣なども考えてほしい。
・災害時には交通や通信手段が使えなくなるため、訪問が困難になることが考えられる。利用者の安否確認の方法や、訪問の継続のために必要な物資や支援体制を整えておく必要がある。